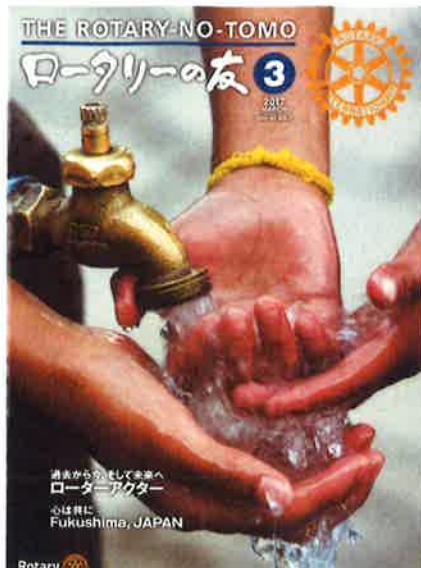


★水と衛生の取り組み

★衛星クラブの力

★高校生市議会開催

★ロータリーの森を整備



日一タリーの友 3月号の表紙

過去から今、未来へ

日本で最初にローターアクトラクターブ(RAC)が結成されたのは1968年6月1日、

ユマロなどで自立型タワーを作り、「マシユマロチャレンジ」というゲームをした第2590地区(神奈川県)や、イノシシ解体ショーを実施した珠洲RAC、穂高悠生寮の風呂掃除を体験した松本RACなどユニークな取り組みです。

過去の取り組みの紹介では、1970年代に盲学校

の児童を美容室に招待した
松山R.A.C、1980年代
では、来たるべきコンピュ
ートピア時代に備え、ワー
プロやパソコンへの理解を
深めてもらう取り組みを始
めた岐阜西R.A.C、199
0年代では、高岡西R.A.C
が買い物袋の持参を呼びか
けるキャンペーンを実施し
ています。

地域らしさの知恵比べ

国際ロータリー第2690地区玉島RC50周年記念講演会で、濱家輝雄・倉敷芸術科学大学客員教授が、地元倉敷市玉島を例に「地方創生」「ひと・まちしご」とについて話されています。

の低迷や農林水産業の衰退の危機に瀕し、人口減少、少子高齢化の波にのみ込まれてようとしているなか、「地域の若者と語り合い、町の素晴らしさを伝えてほしい」と訴えています。地方創生は、その地域「らしさ」の知恵比べとも。

ロータリーの友を読もう

[ロータリーの友を読もう](#)

き少なくとも1本の植樹をするよう、すべてのロータリークラブにお願いしたい」と述べています。この取り組みで120万本の木が植えられるそうです。

ライズリー氏が強調したのは、木を植えるだけではなく、間伐などその後の手入れも考えなくてはいけないということです。(風鶯)